

# 健康がぐんま

vol. 38  
2022 Autumn

P2-5

## リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま <sup>10th</sup> 開催報告

P6-8

## 財団からのお知らせ

- ・群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました
- ・各種キャンペーンを実施しました
- ・令和4年度 群馬県地域保健研究発表会を開催します
- ・健康づくり研究助成「あさを賞」募集しました
- ・取材を受けました
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまに参加しました
- ・群馬県がん患者団体連絡協議会 ご紹介⑪  
(あおばの会)





# 10th リレー・フォー・ライフ・ジャパン

10/7(金) 9:00

## 前日準備



大雨の中、ウォークのためのコースづくりが始まりました。



10  
10周年を祝う色あざやかな  
バルーンが風に踊ります。

10/8(土) 14:00

## 開会式

前日、あれほど降っていた雨も当日は止み、青空の広がる14:00。

大島RFLJぐんま実行委員長の開会宣言でリレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまが始まりました。



星名群馬県議会議長と垣添日本対がん協会会長  
星名議長さんと一緒にウォークしていただきました。

14:30

## サバイバズラップから 全体ウォークへ

日本対がん協会、垣添会長と大島実行委員長を中心に、最初の一周、サバイバズラップが始まり、参加者や学生ボランティアの盛大な拍手が沸き起こります。そのあとに、来賓の皆さん、参加チームの面々が続き、その表情は4年ぶりに、この会場に集い、一緒に歩く喜びに満ちあふれています。



15:00

## ステージ

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの第1回から応援に駆けつけてくれている我らがヒーロー超速戦士G-FIVEを皮切りに、黛さんの熱いギター演奏、ロクさんと仲間たちの癒しのウクレレ、そしてお馴染みヨロコンデぶっちゃんの沁みる歌声が、会場を盛り上げてくれます。



# 2022ぐんま イベントレポート!



リレーイベントの会場に恐竜出現!!

学生ボランティアの皆さん、今年もありがとうございます!  
群馬医療福祉大学、群馬パース大学、群馬県立県民健康科学大学の学生さんにボランティアとして協力していただきました。

18:00

## ルミナリエ点灯と エンプティテーブルセレモニー

夕暮れとともにルミナリエに灯がともされ、静寂の中、エンプティテーブルセレモニーが行われました。この場所に来ることのできなかった大切な人を想う、特別な時間。会場が儼かな空気に包まれます。



19:45

## ファイナルラップから閉会式へ

24時間から6時間に短縮になりましたが、そのぶん濃縮された時間でした。いよいよ最後の一周(ファイナルラップ)となり、ゴールを迎えます。  
必ず来年もまたこの場所でお会いしましょう。



### リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまに参加して

公益財団法人日本対がん協会会長 国立がんセンター名誉総長 垣添 忠生

2022年10月8日、4年ぶりに群馬RFLがリアル開催された。前日の冷たい雨の中、準備を進められた皆様の御苦労を偲んだ。

当日は打って変わった晴天で、緑の芝生に覆われた会場には、色とりどりのテントが設営され、大勢の学生ボランティアの皆様が、即ちルミナリエの準備に入っていた。

大島実行委員長はじめ、実行委員の皆さん、参加されたサバイバー、家族、そして本RFLに御尽力いただいた個人、団体の多くの皆様に心より感謝申し上げます。

私もサバイバズラップの後は、各テントを挨拶廻りし、自分でも2万歩歩いた。サンスクリーンをベッタリ塗ったが、かなり日焼けした。

群馬RFLの括目すべき点は、グラウンドを常に旗などをを持った集団が歩いていること、また寄附額もトップ近くになること。協会支部である群馬県健康づくり財団の皆様の全面的な協力、多くの医療機関の参加が特筆される。

素晴らしい一日でした!

# 財団からのお知らせ

## 群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました

複十字シール運動開始にあたり、令和4年8月2日(火)群馬県地域婦人団体連合会(結核予防婦人会)の大竹会長ほか、代表者と財団職員が群馬県健康福祉部を表敬訪問しました。

複十字シール運動の趣旨や県内の結核の現状などを説明するとともに、キャンペーンで配布するグッズをお渡しし、複十字シール運動へのご協力をお願いしました。



## 各種キャンペーンを実施しました

9月のがん征圧月間に合わせ、15日から29日までの約2週間、群馬県庁昭和庁舎をリレー・フォー・ライフを象徴する色、パープルにライトアップしました。

また、10月は臓器移植推進月間及び乳がん月間です。臓器移植医療への認知と理解が進むことや、乳がん検診の受診率向上を目指し、群馬県庁昭和庁舎と臨江閣をそれぞれのシンボルカラーであるグリーンとピンクにライトアップ、また、高崎駅構内にデジタルサイネージを掲出しました。



乳がん月間(10月)



がん征圧月間(9月)



臓器移植推進月間(10月)

## 令和4年度 群馬県地域保健研究発表会を開催します

この研究発表会は、研究発表を通じて保健衛生の向上を図り、県民の健康増進に寄与するため、また保健従事者の交流を目的として、毎年群馬県と財団が主催しています。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からZoom開催となり、関係者が日頃の研究成果を発表しました。

今年度については詳細が決まり次第、各関係機関にご案内を送付します。



群馬県地域保健研究発表会 Zoom開催の様子

## 健康づくり研究助成「あさを賞」募集しました

今年度も県内行政機関、保健福祉機関・団体・試験・研究所、県医師会等職能団体、大学などを対象に、健康づくり研究助成「あさを賞」の募集を行いました。「あさを賞」は前橋市内で小児科を開業していた且尾雅子医師が地域の保健福祉に役立てたいと私財を投じて、1987年に基金を設立したのが始まりです。

県民の健康増進、疾病予防等に役立つものとして選考委員会が認めた研究課題に対し、助成を行い、現在までに229の研究課題が選出されています。

選考委員会は12月中に開催する予定です。



令和3年度あさを賞選考委員会(ハイブリッド開催)の様子

## 取材を受けました

毎年、9月のがん征圧月間や10月の乳がん月間には、それに関連して特集された記事が新聞に掲載されていますが、コロナ禍での受診控えによるがんの発見遅れが懸念されている昨今、がん検診受診率に関して新聞社、広報誌制作会社から、当財団が取材を受ける機会が多くなりました。

こういった取材の機会を通じて、できるだけ多くの皆さんに「がん検診の重要性」や「がんに関する正しい知識」をお伝えできればと思っています。



ママ・こころ秋号 vol.50



上毛新聞「乳がん特集」10月1日掲載

## リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまに参加しました

当財団内にリレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局が置かれています。

10月8日(土)のリレーイベントには、当財団もイベントのスタッフとして、またリレーウォークの参加チームメンバーとして参加し、他チームの方々とともに元気に歩き、ファイナルラップを迎えました。

10年目を迎え、さらにこの活動が盛り上がっていくよう、当財団としても全力でバックアップしていく所存です。



約85名の職員がスタッフとして参加しました。



チームとしてリレーウォークにも参加

## 群馬県がん患者団体連絡協議会 ご紹介⑪

### 11 あおばの会

あおばの会は血液がんの白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の患者、家族を主にした会です。

平成19年(2007年)に発足し平成20年5月24日から活動開始し2ヶ月に一度、偶数月の第2土曜日(8月はお盆で休会)に群馬大学医学部附属病院南病棟1階、憩いの広場「尾瀬」内のピアノ近くで情報交換と親睦を目的に活動しています。

入院、治療中と同じ病気の人も見つけづらく情報も少なく大変不安な時期を過ごした経験から、少しでもその不安を解消するお手伝いが出来ればと考えています。

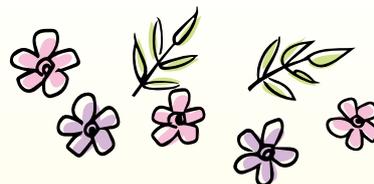
都合がつく人が集まり必要とする人が参加する形で無理なくのんびりとやっています。是非あなたの経験を、貴方の不安をここで話してみてください。

#### 【連絡先】

あおばの会 代表 相川 政雄

携 帯：090-8805-1295(平日は仕事のため土・日のみで)

メール：aobanokai2007@gmail.com



4年ぶりのリレーイベントが無事に終わりました。RFL特集記事として4ページを使いましたが、まだまだ載せきれない良い写真がたくさんあります。写真に共通するのは、参加した皆さんの楽しそうな笑顔。こちらたくさん元気をいただきました。

そろそろ本格的な冬を迎えますので、どうぞ皆さんご自愛ください。(M)

健やがぐんま

vol.38 2022 Autumn

編 集 ● 公益財団法人群馬県健康づくり財団 総務部 企画広報課  
発 行 ● 公益財団法人群馬県健康づくり財団 理事長 須藤 英仁  
〒371-0005 群馬県前橋市堀之下町16-1  
TEL.027-269-7811 FAX.027-269-8928  
印 刷 ● 上野印刷工業株式会社

